

6 重要遺跡

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
1	大久保古墳群	古墳群	荒川の支流鴨川流域の大久保、白鍬地区に分布する9基の古墳。(5基は市指定史跡)	さいたま市桜区白鍬字木畔 519、塚本字東 105、上大久保字天神 1137、五関字中島 414 ほか	昭 44・10・1
2	側ヶ谷戸貝塚	貝塚	縄文時代前期(関山・黒浜式期)の地点貝塚。	さいたま市大宮区三橋 4 丁目 692 ほか	昭 44・10・1
3	側ヶ谷戸古墳群	古墳群	鴨川流域左岸に分布する古墳群(5基は市指定史跡)。	さいたま市大宮区三橋 4 丁目	昭 44・10・1
4	五味貝戸貝塚	貝塚	縄文時代早・前期の貝塚。	さいたま市西区指扇井戸尻 610 ほか	昭 44・10・1
5	大和田陣屋跡	城館跡	室町時代の築造。東西 130m、南北 48m の長方形土塁が残存。	さいたま市見沼区大和田 1-375 ほか	昭 44・10・1
6	永田陣屋跡	城館跡	江戸時代の築造。伊奈半十郎忠治が居住。	さいたま市西区土屋 5 ほか	昭 44・10・1
7	膝子遺跡	泥炭層遺跡	綾瀬川流域の沖積低地にある縄文後・晩期の泥炭層遺跡。丸木舟が出土している。	さいたま市見沼区膝子	昭 51・10・1
8	黒谷貝塚	貝塚	縄文時代前期、黒浜式期の貝塚。	さいたま市岩槻区黒谷字中道、本郷前、田畑前、貝塚前 1674 ほか	昭 44・10・1
9	桜山貝塚	貝塚	縄文時代前期の貝塚。	さいたま市岩槻区慈恩寺南 483 ほか	昭 51・10・1
10	柏崎貝塚	貝塚	縄文時代前期、諸磯式期の貝塚。	さいたま市岩槻区柏崎 844 ほか	昭 51・10・1
11	裏慈恩寺南遺跡	集落跡	大宮台地慈恩寺支台にある縄文時代中期末から後期初頭の遺跡。一部発掘調査。	さいたま市岩槻区裏慈恩寺 836 ほか	昭 51・10・1
12	前野宿貝塚	貝塚・集落跡	縄文時代後期・晩期(加曾利B・安行式期)の貝塚3地点、ヤマトシジミ、カキ、ハマグリ等で構成される。	川口市東本郷字大塚 1586 ほか	昭 51・10・1
13	猿貝貝塚	貝塚・集落跡	縄文時代後・晩期(安行式期)の貝塚。ヤマトシジミ、ハマグリ、カキ等で構成される。	川口市安行字宮越 990、大元 790 ほか	昭 51・10・1
14	江戸袋貝塚	貝塚・集落跡	縄文時代後期(堀之内式)の貝塚。自然堤防上にある数少ない例。	川口市江戸袋 1-20-32 ほか	昭 51・10・1
15	宮合遺跡	貝塚・集落跡	縄文時代後・晩期(堀之内・加曾利B・安行式期)の集落跡。貝塚2か所を含む。	川口市西立野字宮合	昭 51・10・1
16	鍛冶谷・新田口遺跡	集落跡	荒川下流域沖積低地帯の遺跡。弥生～古墳時代の集落、方形周溝墓群。	戸田市上戸田 5-16 ほか	昭 51・10・1
17	岡の城山	城館跡	戦国時代の築造。平山城。土塁・空堀がよく現存。	朝霞市岡 3-386 ほか	昭 44・10・1
18	市場坂遺跡	遺物包含地	旧石器を包蔵する黒目川右岸遺跡群の1つ。ナイフ形石器、礫群が出土。	新座市新塚 4727 ほか	昭 51・10・1
19	嵯峨山遺跡	集落跡	武蔵野台地上にある縄文時代中期の典型的な集落跡。	新座市堀ノ内 1-1993 ほか	昭 51・10・1
20	宮前遺跡	集落跡	古墳から奈良・平安時代の大規模な集落跡。	鴻巣市宮前字本田 1256 ほか	昭 51・10・1
21	三嶋神社古墳	前方後円墳	荒川の自然堤防上に築かれた前方後円墳。(市指定史跡)	鴻巣市明用 123 ほか	昭 44・10・1
22	平方貝塚	貝塚	荒川左岸、奥東京湾の最奥部に位置する縄文時代早期の貝塚。ヤマトシジミを主とし、ハイガイ等で構成される。	上尾市平方字南 767 ほか	昭 51・10・1
23	畔吉遺跡	集落跡	縄文時代、古墳時代の集落跡。	上尾市畔吉字八幡 486 ほか	昭 51・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
24	原山古墳群	古墳群	荒川左岸の台地上に立地。円墳9基残存。(市指定史跡)	桶川市川田谷7312ほか	昭44・10・1
25	三ツ木城跡	城館跡	室町から戦国時代の築造。三角形の囲郭、土塁・空堀残存。	桶川市川田谷字城山2572ほか	昭44・10・1
26	石戸城跡	城館跡	室町時代の築造。本郭を中心として土塁・空堀残存。	北本市石戸宿6-2ほか	昭44・10・1
27	八重塚古墳群	古墳群	荒川下流左岸の群集墳。現存は4基のうち2号墳のみ。3号墳からは、大型の須恵器甕出土。	北本市荒井6-102	昭44・10・1
28	大山遺跡	生産遺跡	奈良・平安時代の製鉄遺跡。	北足立郡伊奈町大字小室811ほか	昭51・10・1
29	牛塚古墳	前方後円墳	入間川左岸台地上にある前方後円墳。全長47m。埋葬施設は横穴式石室。	川越市的場字牛塚2473ほか	昭44・10・1
30	南大塚古墳群	古墳群	古墳時代後期の群集墳。	川越市大塚1-6-2ほか	昭44・10・1
31	砂川遺跡	遺物包含地	ナイフ形石器を主体とする旧石器時代の遺跡。(一部市指定史跡)	所沢市三ヶ島3-1075ほか	昭51・10・1
32	北秋津横穴群	横穴群	柳瀬川に面する台地南斜面に所在。1基調査。隣接斜面にも多数存在と推定される。	所沢市北秋津字阿間巖下491ほか	昭51・10・1
33	滝之城横穴群	横穴群	県指定史跡滝之城跡の南斜面に所在。5基発掘調査、副葬品出土。	所沢市大字城535番地	昭51・10・1
34	小岩井渡場遺跡	集落跡	旧石器時代・縄文時代早・前期の集落跡。	飯能市小岩井字渡場	昭51・10・1
35	城山砦跡	城館跡	上杉氏が北条氏康の侵攻に備えて築造したとされる砦。土塁・空堀残存。(市指定史跡)	狭山市柏原2346-2ほか	昭44・10・1
36	宮地遺跡	集落跡	縄文時代中期の集落跡。敷石住居跡が発見されている。	狭山市笹井1565ほか	昭51・10・1
37	東八木窯跡群	生産遺跡	入間川左岸にある奈良から平安時代の須恵器等の窯跡群。	狭山市笹井字東八木3121ほか	昭51・10・1
38	坂東山遺跡	集落跡	縄文時代中期から後期にかけての大集落跡。	入間市小谷田字坂東山、中野原ほか	昭51・10・1
39	東金子窯跡群	生産遺跡	加治丘陵の広町・新久・谷久保・前内出等に分布する瓦・須恵器の窯跡群。	入間市仏子、新久、小谷田ほか	昭44・10・1
40	田波目城跡	城館跡	城主・築造年代ともに不明であるが、土塁・堀が残存する。	坂戸市多和目字城山	昭44・10・1
41	勝呂麩寺	寺院跡	飛鳥時代創建の寺院跡。礎石、古瓦、瓦塔片、相輪等が出土している。	坂戸市石井字石井354ほか	昭51・10・1
42	斎藤氏館跡	城館跡	室町時代。斎藤美濃守富長とその子孫の居館と伝える。	入間郡毛呂山町平山1-45-14ほか	昭44・10・1
43	毛呂氏館跡	城館跡	毛呂氏が創建した長栄寺の裏山に残る中世城館跡。「コ」の字状の土塁・空堀・平場が現存。	入間郡毛呂山町小田谷698	昭51・10・1
44	竜ヶ谷城跡	城館跡	室町時代の築造か。空堀一部残存。	入間郡毛呂山町阿諏訪1561-2ほか	昭51・10・1
45	高岡窯跡群	生産遺跡	平安時代の須恵器、瓦の窯跡群。	日高市高岡字山境258ほか	昭51・10・1
46	大寺麩寺跡	寺院跡	奈良から平安時代。布目瓦、須恵器片散布。建物跡を日高市分で3棟、毛呂山町分で1棟確認。(一部市指定史跡)	日高市山根下大寺1312、入間郡毛呂山町葛貫1125-1ほか	昭51・10・1
47	古凍柏崎古墳群	古墳群	古凍地内に5基、柏崎地内に10基が残存。	東松山市古凍、柏崎	昭44・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
48	番清水遺跡	集落跡	古墳から平安時代にかけての集落跡、大型方形周溝墓。昭和42年一部発掘調査。	東松山市柏崎字番清水	昭44・10・1
49	五領遺跡	集落跡	弥生時代末期から古墳時代前期の集落跡。古墳時代前期の「五領式土器」の標式遺跡。(市指定史跡)	東松山市若松町2丁目ほか	昭44・10・1
50	比丘尼山横穴群	横穴群	比丘尼山の南斜面に現在3基開口。他にも多数埋没。(市指定史跡)	東松山市大谷字花木	昭44・10・1
51	大谷窯跡群	生産遺跡	国指定史跡「大谷瓦窯跡」の周辺にも数多く埋没する窯跡群。	東松山市大谷字谷中2192ほか	昭44・10・1
52	諏訪山古墳群	古墳群	高坂台地北縁に所在。前方後円墳、前方後方墳を中心とする前期古墳を含む古墳群。(一部、市指定史跡)	東松山市西本宿	昭44・10・1
53	旧正法寺跡	寺院跡	現在、正法寺と観音堂の他、正存院・正覚院・熊野神社等がある区域。	東松山市岩殿字藤井	昭51・10・1
54	小代氏館跡	城館跡	高坂台地東端に位置する方形館。土塁、堀の一部が残存。	東松山市正代字中形	昭51・10・1
55	野本氏館跡	城館跡	鎌倉時代の野本氏の居館と伝えられるが不明。土塁、空堀の一部残存。(市指定史跡)	東松山市下野本	昭51・10・1
56	高坂館跡	城館跡	高坂台地端部にある崖縁城。現在のよう形状となったのは戦国期と考えられる。土塁、空堀の一部が残存。	東松山市高坂834ほか	昭51・10・1
57	岩鼻遺跡	集落跡	縄文から平安時代の集落跡。弥生時代後期「岩鼻式土器」の標式遺跡。	東松山市松山字岩鼻	昭51・10・1
58	古凍遺跡	集落跡	古凍地区一帯にひろがる大集落跡。	東松山市古凍	昭44・10・1
59	附川遺跡	集落跡	都幾川に面した台地上、南中学校校庭に方形周溝墓数基が見られた。	東松山市石橋字附川	昭51・10・1
60	三千塚古墳群	古墳群	雷電山古墳等約20基が現存する群集墳。川越カントリーゴルフ場内に所在。(市指定史跡)	東松山市大谷	昭51・10・1
61	西原古墳群	古墳群	小円墳数基。一部発掘調査、銅銚出土。	東松山市上唐子字西原	昭44・10・1
62	行人塚古墳群	古墳群	古墳群として選定されたが、その後の調査により、10数基からなる近世塚群であることが明らかとなっている。	比企郡小川町上横田字峰、新屋敷686ほか	昭44・10・1
63	青山城跡	城館跡	室町時代の築造。土塁、空堀一部残存。	比企郡小川町下里城山2787ほか	昭44・10・1
64	古里古墳群	古墳群	山稜斜面に分布する古墳群で、現在41基残存。	比企郡嵐山町古里字岩根沢340ほか	昭44・10・1
65	将軍沢窯跡群	生産遺跡	丘陵斜面に群をなしている古代窯業遺跡。	比企郡嵐山町将軍沢字鶴巻824ほか	昭44・10・1
66	旧平沢寺跡	寺院跡	平沢寺本堂のほか、不動堂、白山社、経塚、井戸、湧水池。	比企郡嵐山町平沢字入977ほか	昭51・10・1
67	稲荷塚古墳群	古墳群	荒川右岸自然堤防上の古墳群。緑泥片岩製の箱式石棺が出土。	比企郡川島町下小見野	昭44・10・1
68	茶白山古墳	方墳	一辺28m、高さ5m、墳頂が一部破損している。	比企郡吉見町黒岩字茶白762ほか	昭51・10・1
69	山の上古墳	前方後方墳	全長54.8mの前期古墳。吉見丘陵における唯一の前方後方墳。別名「山ノ根1号墳」。	比企郡吉見町久米田字山の上5の耕地746ほか	昭51・10・1
70	和名埴輪窯跡群	生産遺跡	和名沼に面する台地の南斜面、多数埋没。昭和49年に一部発掘調査。	比企郡吉見町和名字神明前1016ほか	昭51・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
71	山田城跡	城館跡	戦国時代の築造。居住者不明。土塁・空堀等の保存状態は良好。	比企郡滑川町山田字城山 1924 ほか	昭 44・10・1
72	月輪古墳群	古墳群	昭和 26 年の調査では 44 基確認。現存 27 基平成 8 年からの調査で、54 基が消滅、現存 10 基。	比企郡嵐山町川島字屋田 2153 ほか、比企郡滑川町月輪字西新井前 733 ほか	昭 44・10・1
73	羽尾城跡	城館跡	松山城家人山崎若狭守居城と伝える。天正 18 年落城。	比企郡滑川町羽尾字金光寺 5344 ほか	昭 51・10・1
74	鳩山窯跡群	生産遺跡	鳩山町の丘陵斜面に所在する古代窯業遺跡群の総称。	比企郡鳩山町	昭 44・10・1
75	十郎横穴群	横穴群	山稜斜面を利用して穿ったもの。現在 3 基が開口。(町指定史跡)	比企郡鳩山町石坂字重郎	昭 44・10・1
76	興長寺跡	寺院跡	奈良・平安時代。形態、規模不詳。軒丸瓦出土。	比企郡鳩山町小用 137	昭 51・10・1
77	旧慈光寺跡	寺院跡	現慈光寺を中心に一山七五坊の痕跡が明らか。約 150 h a の範囲に 130 ヶ所余りの削平地が僧坊跡として雛壇造成されている。平安時代から江戸時代までの遺物が山内に散布する。ところにより礎石あり。	比企郡ときがわ町西平字都幾山 ほか	昭 51・10・1
78	大野原古墳群	古墳群	横瀬川両岸に分布する古墳群。20 数基現存。	秩父市大野原字下小川ほか	昭 44・10・1
79	狐塚古墳	円墳	秩父地方最大級の円墳。直径約 25m。(市指定史跡)	秩父市上影森字下原 787	昭 44・10・1
80	橋立岩陰遺跡	岩陰遺跡	石灰岩の断層崖を背にした岩陰遺跡。(市指定史跡)	秩父市上影森字下橋立	昭 44・10・1
81	諏訪城跡	城館跡	南北朝時代。鉢形城家臣諏訪氏居城と伝える。土塁、堀一部残存。	秩父市大野原字蓼沼 3228 ほか	昭 44・10・1
82	永田城跡	城館跡	室町時代。居住者不詳。土塁、堀一部残存。	秩父市上寺尾字永田 3600 ほか	昭 44・10・1
83	葉山遺跡	集落跡	丘陵西側斜面にひろがる縄文時代中期の集落跡。	秩父市田村字葉山 1439 ほか	昭 51・10・1
84	太田条里遺跡	条里遺跡	赤平川右岸段丘に広がる。約 40ha の規模。	秩父市太田	昭 51・10・1
85	彦久保岩陰遺跡	岩陰遺跡	縄文時代早期から古墳時代に至る遺物包含層がよく残る岩陰遺跡。(市指定史跡)	秩父市吉田阿熊字彦久保 110	昭 44・10・1
86	太田部古墳群	古墳群	県内最高所にある古墳群。12 基現存。	秩父市吉田太田部 1470 ほか	昭 51・10・1
87	熊倉城跡	城館跡	戦国時代の山城。長尾景春の居城ともいう。空堀残存。	秩父市荒川日野字呑だ熊 1825 ほか	昭 44・10・1
88	日尾城跡	城館跡	戦国時代。鉢形城の支城。諏訪部定勝居城。(町指定史跡)	秩父郡小鹿野町飯田字城山 2236 ほか	昭 51・10・1
89	塩沢城跡	城館跡	戦国時代の山城。長尾景春が鉢形城以後、熊倉城以前に居城と伝える。	秩父郡小鹿野町両神薄字柏沢谷 4486 ほか	昭 51・10・1
90	勝負沢岩陰遺跡	岩陰遺跡	金沢川の支流勝負沢の右岸。岩陰は 2 か所あり。縄文時代早期から中期の遺物が出土。	秩父郡皆野町下日野沢 729	昭 51・10・1
91	駒形遺跡	集落跡	荒川右岸河岸段丘上の縄文時代中期から晩期の集落跡。敷石住居跡あり。(町指定史跡)	秩父郡皆野町皆野 2228-1 ほか	昭 51・10・1
92	竜ヶ谷城跡	城館跡	鉢形の家臣用土氏が居住した山城。曲輪、空堀、堀切などが良好な状態で現存する。	秩父郡皆野町三沢 2980 ほか	昭 51・10・1
93	西富田遺跡	集落跡	古墳時代中期の大集落跡。カマド出現期の住居群。	本庄市西富田字北原 342 ほか	昭 44・10・1
94	旭・小島古墳群	古墳群	組合せ箱式石棺を有する八幡山古墳を中心とする古墳群。	本庄市小島・下野堂、児玉郡上里町神保原ほか	昭 44・10・1
95	大久保山古墳群	古墳群	通称大久保山上に分布する東谷古墳を中心とする古墳群。	本庄市北堀字前山 2108 ほか	昭 51・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
96	大久保山寺院跡	寺院跡	鎌倉・室町時代。旧西光寺跡か。瓦、瀬戸蔵骨器出土。	本庄市栗崎 180 ほか	昭 51・10・1
97	長沖・高柳古墳群	古墳群	小山川にのぞむ丘陵の上に分布する古墳群。前方後円墳を含む約 150 基。	本庄市児玉町長沖、高柳	昭 44・10・1
98	秋山古墳群	古墳群	市指定史跡庚申塚古墳（円墳）を中心とする古墳群。15 基現存。（市指定史跡）	本庄市児玉町秋山字田中沢、甲斐	昭 51・10・1
99	生野山古墳群	古墳群	生野山から北十条にかけて分布する前方後円墳 2 基を含む古墳群。	本庄市児玉町児玉字生野山、児玉郡美里町北十条ほか	昭 51・10・1
100	帯刀古墳群	古墳群	神流川流域右岸に存在。円墳の 20 基が現存。	児玉郡上里町帯刀、五明、長浜	昭 51・10・1
101	五明廃寺跡	寺院跡	神流川の扇状地に造営された奈良時代の寺院跡。	児玉郡上里町五明字若宮 760 ほか	昭 51・10・1
102	羽黒山古墳群	古墳群	丘陵上に分布する古墳群。約 8 基現存。土地改良事業にかかり発掘調査。	児玉郡美里町白石字羽黒	昭 44・10・1
103	駒衣廃寺跡	寺院跡	台地上に造営された奈良・平安時代の寺院跡。	児玉郡美里町木部字上谷 49-1 ほか	昭 44・10・1
104	塚本山古墳群	古墳群	関越道にかかり 29 基を発掘調査。現在 140 基残存。	児玉郡美里町下児玉字東山、中山ほか	昭 51・10・1
105	諏訪山古墳群	古墳群	帆立貝式の前方向後円墳を中心とする古墳群。現在 21 基前後の円墳が残存。	児玉郡美里町阿那志字諏訪山ほか	昭 51・10・1
106	普門寺古墳群	古墳群	総数 20 基以上の群集墳。	児玉郡美里町猪俣字切通、白掛ほか	昭 51・10・1
107	広木大町古墳群	古墳群	両子塚古墳（前方後円墳）を主墳とする古墳群。現存 8 基。	児玉郡美里町広木	昭 51・10・1
108	青柳古墳群	古墳群	神流川右岸に所在する約 300 基からなる古墳群。10 支群に分けられる。	児玉郡神川町二ノ宮、新里、池田ほか	昭 44・10・1
109	池田遺跡	集落跡	児玉地方には数少ない縄文時代早・中・後・晩期の遺跡。	児玉郡神川町池田字東谷ほか	昭 51・10・1
110	白岩古墳群	古墳群	丘陵頂部に位置する前方後円墳 1 基、円墳 3 基で構成されている。	児玉郡神川町新里 2094 ほか	昭 51・10・1
111	横塚山古墳	前方後円墳	利根川・荒川の沖積地に築造された前方後円墳。朝顔形埴輪が出土。（市指定史跡）	熊谷市中奈良字横塚 511 ほか	昭 44・10・1
112	三ヶ尻遺跡	集落跡	弥生時代中期前半の集落跡、墓地。	熊谷市三ヶ尻字八幡	昭 51・10・1
113	西別府祭祀遺跡	祭祀遺跡	湯殿神社に隣接する湧水地から多数の石製模造品が出土。古墳から平安時代。（一部国指定史跡）	熊谷市西別府 1575 ほか	昭 51・10・1
114	瀬戸山古墳群	古墳群	台地上に分布する古墳群。現存 27 基。	熊谷市楊井字瀬戸山	昭 51・10・1
115	宮塚古墳群	古墳群	国指定史跡宮塚古墳（上円下方墳）を中心とする古墳群。現存 9 基。	熊谷市広瀬字山王	昭 51・10・1
116	飯塚遺跡	集落跡	利根川の自然堤防上にある。弥生時代中期の集落跡、墓地ほか。	熊谷市飯塚	昭 51・10・1
117	権現坂埴輪窯跡	生産遺跡	江南台地上、谷を挟み東西支群がある。西支群発掘調査。（市指定史跡）	熊谷市千代字富士山下 731 ほか	昭 44・10・1
118	高根横穴群	横穴群	高根山の北西尾根の南側中腹にある。現在開口しているもの 1 基。（市指定史跡）	熊谷市小江川字中谷 343-2 ほか	昭 51・10・1
119	野原古墳群	古墳群	和田川左岸の江南台地上に分布する終末期古墳群。現存 26 基。	熊谷市野原字境田、宮脇ほか	昭 51・10・1
120	疋鼻和城跡	城館跡	室町時代。疋鼻和上杉 4 代（憲英・憲光・憲長・憲信）の居城。（市指定史跡）	深谷市国済寺	昭 44・10・1
121	上敷免遺跡	集落跡	利根川沖積地内の自然堤防上に所在。弥生時代中期の集落跡、墓地ほか。	深谷市上敷免 658 ほか	昭 51・10・1
122	木の本古墳群	古墳群	福川右岸の台地上にある。12 基現存。（市指定史跡）	深谷市西島、城西、原郷、東方	昭 51・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
123	寅稻荷塚古墳	前方後円墳	全長 51m、高さ 3.5m の前方後円墳。一部発掘調査。(市指定史跡)	深谷市岡字二の丸 1685	昭 44・10・1
124	西谷遺跡	集落跡	縄文時代草創期の遺跡として著名。他に土師器・須恵器も散布。	深谷市針ヶ谷字西谷 182 ほか	昭 51・10・1
125	四十坂遺跡	集落跡	弥生時代の遺跡としては県内最古級。	深谷市岡字四十坂 1151 ほか	昭 51・10・1
126	貉山祭祀遺跡	祭祀遺跡	山崎山丘陵にあり、県内でも数少ない古墳時代に属する祭祀遺跡。土製模造品多数が出土(出土品は市指定)。	深谷市今泉字貉山 606	昭 51・10・1
127	橋屋遺跡	集落跡	荒川中流域左岸の河岸段丘上にある。県北を代表する縄文時代晩期の遺跡。	深谷市小前田字橋屋 408-1 ほか	昭 51・10・1
128	黒田古墳群	古墳群	荒川左岸の河岸段丘上に築造された後期古墳群。4 基現存。(市指定史跡)	深谷市黒田	昭 51・10・1
129	畠山館跡	城館跡	館跡内に県指定史跡畠山重忠墓がある。館跡北辺の堀発掘調査。	深谷市畠山字八幡 520 ほか	昭 44・10・1
130	本田城跡	城館跡	荒川右岸の江南台地の南緩斜面に築かれた居館跡。土塁、空堀残存。	深谷市本田字西上本田 5032 ほか	昭 44・10・1
131	大河内金兵衛陣屋跡	城館跡	荒川右岸の江南台地上に所在。鉢形城開城後、徳川氏の代官として旧鉢形領に入った大河内金兵衛秀綱(松平信綱の祖父)が設置した陣屋跡。北と西の面は荒川の段丘面と台地縁の崖線を利用し、他二方を堀で区画している(現在は埋められている)。鉢形城の物見櫓を転用したと伝わる。	大里郡寄居町鉢形字八幡台 966 ほか	昭 44・10・1
132	花園城跡	城館跡	戦国時代の山城で、武蔵七党猪俣党藤田氏十五代の居城。複雑な堀割と曲輪の配置や石積みが良好に残る。	大里郡寄居町末野字城山、清見寺、浦山	昭 44・10・1
133	用土平遺跡	集落跡	松久丘陵の残丘状台地に所在する弥生時代中期の集落跡。関東地方西部の中期後半の特徴的な様式構成の出土遺物から、その成立過程と他地域との併行関係を考察するうえで貴重な遺跡。	大里郡寄居町用土字平 5790 ほか	昭 51・10・1
134	赤浜遺跡	集落跡	荒川右岸の江南台地上に所在する縄文～平安時代の複合遺跡。遺跡の範囲内に鎮座する式内社小被神社は、近世に富田から遷座したと伝わる。	大里郡寄居町赤浜字南側中町、南側下町ほか	昭 51・10・1
135	末野窯跡群	生産遺跡	武蔵国四大窯跡群の一つで、寄居町中心部北西の荒川左岸の山地に所在する。主要な窯群は 16 の支群で構成され、東西約 8 km の範囲に及ぶ。操業期間は、古墳～平安時代。埼玉古墳群の中の山古墳から出土した須恵質埴輪を生産。国分寺瓦も焼成。	大里郡寄居町末野、桜沢、藤田 ほか	昭 51・10・1
136	馬騎の内廃寺跡	寺院跡	荒川の左岸、寄居町中心部北の鐘撞堂山麓に造営された古代の山岳寺院跡。出土した瓦は、須恵器製作の技法を用いて製作されている。	大里郡寄居町桜沢字馬騎の内、岩山	昭 51・10・1
137	虚空蔵山古墳	前方後円墳	国指定史跡小見真観寺古墳を中心とする古墳群中の一基。後円部損壊。	行田市小見字屋敷通 1043 ほか	昭 44・10・1
138	旧盛徳寺跡	寺院跡	埼玉古墳群の東方 1.5km に造営された奈良時代の寺院跡。礎石が残る。	行田市埼玉字下埼玉 1118 ほか	昭 44・10・1
139	小針遺跡	集落跡	古墳から平安時代の遺跡。沖積地帯に深く埋没、一部発掘調査。	行田市小針字埜通 856 ほか	昭 51・10・1

No.	名称		概要	所在地	選定年月日
140	水深遺跡	集落跡	土師器製作集団の集落跡。土師器窯を検出。東北自動車道にかかり一部発掘調査。	加須市水深字下原 2170-1 ほか	昭 51・10・1
141	鶴ヶ塚古墳	古墳	墳頂が削られ平坦。稲荷塚ともいう。前方後円墳か。埴輪の靱出土。	加須市町屋新田 633	昭 51・10・1
142	樋遣川古墳群	古墳群	御室塚、浅間塚、稲荷塚の現存 3 基。(市指定史跡)	加須市上樋遣川 4396 ほか	昭 51・10・1
143	毘沙門山古墳	前方後円墳	全長 64m、前方部高さ 5m、後円部高さ 5m。前方部一部削平。	羽生市西 1-13 ほか	昭 44・10・1
144	発戸遺跡	集落跡	縄文時代晩期、安行式期の遺跡。土面出土。	羽生市発戸字漆畑 1529 ほか	昭 51・10・1
145	永明寺古墳	前方後円墳	全長 78m の前方後円墳。衝角付冑、挂甲、鉄鏃、馬具、鉄製鋸、埴輪出土。(県指定史跡 No. 106 参照)	羽生市下村君字谷田 2277 ほか	昭 51・10・1
146	飯積遺跡	集落跡	旧渡瀬川の自然堤防上にある平安時代の遺跡。	加須市飯積 191-2 ほか	昭 51・10・1
147	花積貝塚	貝塚	縄文時代前・中期の貝塚。花積下層式土器の標式遺跡。(市指定史跡)	春日部市花積 114、117、118、道口蛭田 23、24 ほか	昭 44・10・1
148	内牧古墳群	古墳群	南埼玉郡下では数少ない古墳群。(市指定史跡)	春日部市内牧字塚内 1710 ほか	昭 44・10・1
149	神明貝塚	貝塚	縄文時代後期の典型的な環状貝塚。規模は東西 160m、南北 140m。(国指定史跡)	春日部市西親野井 646 ほか	昭 44・10・1
150	塚崎遺跡	集落跡	神明貝塚と同一台地。縄文後期、古墳後期の遺跡。地点貝塚を含む。	春日部市塚崎 162 ほか	昭 51・10・1
151	見田方遺跡	集落跡	県東南部中川低地にある古墳時代後期の集落跡。(一部市指定史跡)	越谷市レイクタウン 8-2 ほか	昭 51・10・1
152	黒浜貝塚	貝塚	縄文時代前期の地点貝塚群。黒浜式土器の標式遺跡。(一部国指定史跡)	蓮田市黒浜、藤ノ木、江ヶ崎	昭 44・10・1
153	関山貝塚	貝塚	縄文時代前期の貝塚。関山式土器の標式遺跡。	蓮田市関山 1 丁目 3279-1 ほか	昭 44・10・1
154	栢間古墳群	古墳群	県指定史跡天王山塚(前方後円墳、全長 100m 超)を主墳とした古墳群。現存 9 基。	久喜市菖蒲町上栢間	昭 51・10・1
155	山崎遺跡	集落跡	旧石器時代、縄文時代早・中・後期の遺跡。	南埼玉郡宮代町山崎 173 ほか	昭 51・10・1
156	鷲宮神社境内遺跡	集落跡	鷲宮神社がある自然堤防上にひろがる縄文から奈良時代の複合遺跡。	久喜市鷲宮	昭 51・10・1
157	木津内貝塚	貝塚	縄文時代前期の貝塚。谷を挟んで 2 地区 6 地点。一部発掘調査。	北葛飾郡杉戸町木津内	昭 44・10・1
158	目沼浅間塚古墳	円墳	目沼古墳群のうち現存する唯一の古墳。全長 46m 以上の前方後円墳。(町指定史跡)	北葛飾郡杉戸町目沼字浅間 398	昭 51・10・1
159	山合遺跡	集落跡	古利根川左岸の沖積低地にある奈良・平安時代の遺跡。	北葛飾郡杉戸町下野字山合 830 ほか	昭 51・10・1
160	木野川古墳群	古墳群	円墳 8 基が残存する古墳群。	北葛飾郡杉戸町木野川 262 ほか	昭 51・10・1
161	本郷貝塚	貝塚	貝の散布地点が馬蹄形に並ぶ縄文時代前期～後期の貝塚。	北葛飾郡松伏町築比地 2277 ほか	昭 51・10・1

※県選定重要遺跡は、昭和 44 年 10 月 1 日及び昭和 51 年 10 月 1 日に、調査の成果に基づき、県教育委員会が選定したものである。名称は選定当時のもので、概要欄には選定時及び選定後の調査等により得た知見を記載した。